

遠隔診療に関する診療行為の網羅的調査

研究分担者 清水隆明
姫路獨協大学

研究要旨

本研究では、遠隔診療に関する診療行為リストを作成し、網羅的な遠隔診療に調和性の高い診療行為を明らかにする。NDBオープンデータ等や社会医療診療行為別調査等を活用し、診療行為の網羅的なリストを作成。収集したリストを分析し、網羅的な遠隔診療に調和性の高い診療行為を関係職種等の特性情報等を調査する。診療行為ごとに診療形態と適応状況を調査し、網羅的な遠隔診療関連診療行為のリストを作成した。網羅的な遠隔診療行為リスト作成したことで、遠隔診療が適応されている診療行為については、診療形態別の実施件数の把握が可能である。また、今後遠隔診療に適応可能性がある診療行為については、診療形態別に今後の遠隔診療普及発展のための検討項目として把握することが可能である。

A. 研究目的

近年の情報通信技術の発達に伴い遠隔画像診断等の一部の分野については一定の広がりを見せているが、未だ安全性や有効性に関するエビデンスが不足している診療領域については、遠隔医療がほとんど普及していない。そこで、遠隔診療に関する診療行為リストを作成し、網羅的な遠隔診療に調和性の高い診療行為を明らかにすることで遠隔医療の発展と普及を促すことがねらいである。

既存診療行為の中から遠隔医療と親和性の高い診療領域を抽出し、今後どのような有効性・安全性に関するエビデンス蓄積が必要か分析して、遠隔医療普及推進のロードマップを策定する。各診療行為の遠隔医療に於ける状況を評価するモデル開発および各診療行為の遠隔医療適用可能性の網羅的調査を行い対象となる診療行為はNDBや社会医療診療行為別調査などから網羅的に抽出し、実施状況（件数）も併せて評価を行うことを目的としている。

B. 研究方法

NDBオープンデータ等と社会医療診療行為別調査等を活用し、診療行為の網羅的なリストを作成。収集したリストを分析し、網羅的な遠隔診療に調和性の高い診療行為を関係職種等の特性情報等を調査する。

先行研究で得られたモデルや特性情報を元にして、各診療行為の評価に適用できる遠隔医療形態を調査する。特性情報は、Do to P (Doctor to patient)、D to N to P (Doctor to Nurse to Patient)、N to P (Nurse to Patient)である。次にフェースシートを作成し、遠隔診療の代表的診療行為について、平成29年度の診療報酬の診療行為一覧から算定内容を調査してシート項目に記述した。都道府県別診療行為件数は、厚生労働省が公開している第2回NDBオープンデータのデータを使用し、集計期間は、平成27年4月から平成28年3月診療分を集計している。

C. 研究結果

1. 遠隔診療に関わる診療行為の一覧

表1の遠隔診療に関わる診療行為の一覧は、社会保険診療報酬支払基金医科診療行為の全件マスターの2018年2月21日更新 (http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/tensuhyo/kihonmasta/h28/kihonmasta_01.html) を元に遠隔診療関係する可能性がある診療行為を選び一覧にした表である。7191項目の診療行為より181を選択した。選出基準は、これまでの日本遠隔医療学会の調査にて実施報告や研究報告がある事例を参考にしながら本研究班のワーキンググループで分析を行い遠隔医療に関連する可能性があると判断した項目を採用した。表の構成は、1レコードごとに医科診療行為マスターの診療行為コードと区分番号と診療行為の名称を示し、それぞれ診療行為が遠隔診療どの診療形態に該当するか、DtoD、DtoDtoP、DtoNtoP、DtoP、他に分け該当する欄○が付与されている。備考欄では表3の診療行為名フェースシートが作成している診療行為については、フェースシート番号が記載されている。

2. 診療行為名フェースシート

表2は、診療行為名フェースシートの見本となっている。各項目は、診療行為名の内容欄には診療行為の名称を記載、記号の内容欄には診療行為の記号番号を記載、施設基準の内容欄には主な施設基準の内容文を記載、類似診療行為の内容欄には今回選出した診療行為と算定方法や算定内容が近い診療行為をできる限り

記載、注記の内容欄にはDtoD、DtoDtoP、DtoNtoP、DtoPのどのタイプの診療行為であるかを記載する欄である。表2下部分には、遠隔診療の実施例と研究例があるものについて内容と形態の記入欄である。

表3の1～20の診療行為名フェースシートは、表2の診療行為より、20の主な診療行為を選び各診療行為ごと1枚のフェースシートとなっている。遠隔診療の実施例と研究例は、表4の診療行為フェースシート参考文献等を参考にした。

3. 都道府県別診療行為件数の例

図1はA001再診料の年間算定回数を都道府県別に示したグラフである。A001再診料には、電話再診や同一日の2回目の再診料も含まれている。このグラフから再診料の内訳をとA001再診療は通常の再診料でほぼ占められており、また都道府県別で算定回数が違いがみられるなど全国の算定状況が確認できる。遠隔診療によるオンライン診療の算定が2018年度から算定が開始され、再診の一部がオンライン診療によって代替されると予想される。オンライン診療料の都道府県別の回数を再診療料の算定回数と合わせてみることで全国のオンライン診療料の実施状況をみることで遠隔診療の普及状況をみる事が可能である。

図2は、B001-3生活習慣病管理料の年間算定回数を都道府県別に示したグラフである。B001-3生活習慣病管理料には、自院での処方せん交付の有無と糖尿病・高血圧症・糖質異常症の生活習慣病別に算定が分かれている。このグラフからB001-3生活習慣病管理料では、高血圧症を主

病とし自院で処方せんを交付する算定がどの都道府県も半数以上占められており、また都道府県別で算定回数の違いがみられるなど全国の算定状況が確認できる。遠隔診療による生活習慣病管理料の算定が2018年度から算定が開始され、これまでの生活習慣病管理料の一部がオンライン診療によって代替されると予想される。遠隔診療による生活習慣病管理料の都道府県別の回数をこれまでの生活習慣病管理料の算定回数と合わせてみることで全国のオンライン診療料の実施状況を見ることで遠隔診療の普及状況を見るのが可能である。

D. 考察

診療行為ごとに診療形態と適応状況を調査し、網羅的な遠隔診療関連診療行為のリストを作成した。網羅的な遠隔診療行為リスト作成したことで、遠隔診療が適応されている診療行為については、診療形態別の実施件数の把握が可能である。また、今後遠隔診療に適応可能性がある診療行為については、診療形態別に今後の遠隔診療普及発展のための検討項目として把握することが可能である。

遠隔診療に関する診療行為の網羅的なリストを作成したことで、すでに遠隔医療として認められている項目については、NDBオープンデータを使うことで都道府県別に実施状況がある程度把握することができ、地域や年度ごとに実施状況を見ることができる。

遠隔診療の対象になる可能性のある算定行為については、現状の件数から遠隔診療に置き換わった場合の影響の規模予

測と遠隔診療従事者が算定し易い算定条件の検討を行うことができる。実施件数から遠隔診療の普及状況を把握する場合、算定していることが前提であるため、行為によっては正確に把握するところが難しいという課題が挙げられる。これから遠隔診療の実態と算定条件がうまく適応していない場合件数なしとして報告するため実態と算定件数が遠隔診療従事者からみて実感とずれが生じる算定項目については、実態調査と合わせて詳細な分析が必要であると考え。また既存の算定項目にない遠隔診療について発展と普及のための算定項目と内容を検討する必要がある。

今後 DtoD、DtoDtoP の遠隔による指導管理が増えることが予想されるが、指導内容の濃淡や指導技術などをどのように診療報酬上で評価を行うかが課題となる。また、新しいタイプの指導管理について、例えばデバイス治療を使った新しい指導管理など、デバイスを用いて患者の状態をモニタリングし介入するいわゆるデバイス治療については、議論になっておらず今後どう評価すべきかが課題となる。

オンライン診療について、これまでどのようにオンライン診療に点数をつけ遠隔診療の普及を促すかが課題であったが次の診療報酬改定によって、オンライン診療の算定項目が新設されたことで、今後は、どのように安全の担保しながら遠隔診療を行っていくかに、焦点が移行することになる。

E. 参考文献

- 1) 長谷川 高志. 遠隔診療の有効性・安全性の定量的評価に関する研究. 日本遠隔医療学会雑誌 12(1), 16-18, 2016-06
- 2) 長谷川 高志, 酒巻 哲夫. 遠隔医療の更なる普及・拡大方策の研究－平成26年度厚生労働科学研究報告－. 日本遠隔医療学会雑誌 11(1), 30-33, 2015-07

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表1 遠隔診療の対象候補の診療行為一覧

No	診療行為コード	コード区分番号	名称	DtoD	DtoDtoP	DtoNtoP	DtoP	他	備考
1	111000110	A000	初診料				○		
2	112007410	A001	再診料(一般病床200床以上の病院を除く)		○	○	○		
3	112007950	A001	電話等再診(一般病床200床以上の病院を除く)		○	○	○		診療行為名フェースシート1
4	112011310	A002	外来診療料		○	○	○		
5	190117170	A204	基幹型臨床研修病院入院診療加算(入院初日)	○	○				
6	190126810	A205	超急性期脳卒中加算(入院初日)		○				診療行為名フェースシート2
7	190126910	A205	妊産婦緊急搬送入院加算(入院初日)	○	○				
8	190171910	A205	救急医療管理加算1(1日につき)	○	○				
9	190101770	A210	難病患者等入院診療加算(1日につき)	○	○				
10	190147470	A234	感染防止対策地域連携加算					○	
11	190192310	A246	退院支援加算1(一般病棟入院基本料等の場合)(退院時1回)					○	
12	190024310	A300	救命救急入院料2(3日以内)	○	○				
13	190024510	A300	救命救急入院料1(3日以内)	○	○				
14	190138110	A300	救命救急入院料3(救命救急入院料)(3日以内)	○	○				
15	190138710	A300	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)	○	○				
16	193000310	A300	救命救急入院料1(3日以内)(特定機能病院)	○	○				
17	190120810	A301	脳卒中ケアユニット入院医療管理料(1日につき)	○	○				
18	190149910	A301	小児特定集中治療室管理料(7日以内)	○	○				
19	190174410	A301	特定集中治療室管理料1(7日以内)	○	○	○			診療行為名フェースシート3
20	190175010	A301	ハイケアユニット入院医療管理料1(1日につき)	○	○				
21	193010010	A301	特定集中治療室管理料1(7日以内)(特定機能病院)	○	○				
22	190024710	A302	新生児特定集中治療室管理料1	○	○				
23	113001810	B000	特定疾患療養管理料(診療所)				○		
24	113000410	B001	特定薬剤治療管理料	○	○	○			診療行為名フェースシート4
25	113000670	B001	特定薬剤治療管理加算(臓器移植を含め3月限り)		○		○		
26	113000810	B001	小児特定疾患カウンセリング料(月の1回目)				○		
27	113000910	B001	皮膚科特定疾患指導管理料(1)	○	○		○		
28	113002210	B001	小児科療養指導料		○	○	○		診療行為名フェースシート5
29	113002510	B001	慢性維持透析患者外来医学管理料	○					
30	113002850	B001	てんかん指導料	○	○	○	○		診療行為名フェースシート6
31	113002910	B001	難病外来指導管理料	○	○	○	○		診療行為名フェースシート7
32	113003010	B001	高度難聴指導管理料(術後3月以内)	○		○	○		診療行為名フェースシート8
33	113003510	B001	小児科外来診療料(保険薬局において調剤を受けるために処方せんを交付する場合)初診時(1日につき)				○		
34	113003910	B001	生活習慣病管理料(処方せんを交付)(高血圧症を主病とする場合)				○		
35	113004010	B001	生活習慣病管理料(処方せんを交付しない)(高血圧症を主病とする場合)				○		
36	113005710	B001	喘息治療管理料1(1月目)				○		
37	113005810	B001	生活習慣病管理料(処方せんを交付)(脂質異常症を主病とする場合)				○		
38	113005910	B001	生活習慣病管理料(処方せんを交付)(糖尿病を主病とする場合)				○		
39	113006010	B001	生活習慣病管理料(処方せんを交付しない)(脂質異常症を主病とする場合)				○		
40	113006110	B001	生活習慣病管理料(処方せんを交付しない)(糖尿病を主病とする場合)		○	○	○		診療行為名フェースシート9
41	113006610	B001	小児悪性腫瘍患者指導管理料		○		○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

No	診療行為コード	コード区分番号	名称	DtoD	DtoDtoP	DtoNtoP	DtoP	他	備考
41	113006610	B001	小児悪性腫瘍患者指導管理料		○		○		
42	113006710	B001	地域連携小児夜間・休日診療料1		○		○		
43	113006910	B001	肺血栓塞栓症予防管理料	○					
44	113008310	B001	ニコチン依存症管理料(初回)				○		
45	113010010	B001	糖尿病合併症管理料		○		○		
46	113010110	B001	耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料		○		○		
47	113012810	B001	がん性疼痛緩和指導管理料 (緩和ケアに係る研修を受けた保険医による場合)		○				
48	113013210	B001	移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)		○		○		
49	113013310	B001	移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)		○		○		
50	113013610	B001	糖尿病透析予防指導管理料		○		○		
51	113013810	B001	夜間休日救急搬送医学管理料	○					
52	113015310	B001	がん患者指導管理料(医師又は看護師が心理的不安を軽減するための面接を行った場合)		○		○		
53	113015810	B001	地域包括診療料(月1回)				○		
54	113018070	B001	遠隔モニタリング加算			○	○		診療行為名フェースシート10
55	113018410	B001	認知症地域包括診療料(月1回)		○	○	○		診療行為名フェースシート11
56	113008610	B004	退院時共同指導料1(在宅療養支援診療所の場合)	○					
57	113008710	B004	退院時共同指導料1(1以外の場合)					○	
58	113008910	B005	退院時共同指導料2					○	
59	113011710	B005	介護支援連携指導料	○					
60	113012010	B005	がん治療連携計画策定料1	○					
61	113002610	B006	救急救命管理料	○					
62	190056910	B006	退院時リハビリテーション指導料	○					
63	190030310	B007	退院前訪問指導料				○		
64	180016110	B009	診療情報提供料(1)	○	○		○		
65	114030710	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・別に定める状態・月2回以上・1人)		○		○		診療行為名フェースシート12
66	114030810	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・別に定める状態・月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
67	114030910	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・別に定める状態・月2回以上・10人以上)		○	○	○		
68	114031010	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・月2回以上・1人)		○	○	○		
69	114031110	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
70	114031210	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・月2回以上・10人以上)		○	○	○		
71	114031310	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・月1回・1人)		○	○	○		
72	114031410	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・月1回・2人以上9人以下)		○	○	○		
73	114031510	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(厚生労働大臣の定めるもの))(病床有・月1回・10人以上)		○	○	○		
74	114031610	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・別に定める状態・月2回以上・1人)		○	○	○		
75	114031710	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・別に定める状態・月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
76	114031810	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・別に定める状態・月2回以上・10人以上)		○	○	○		
77	114031910	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・月2回以上・1人)		○	○	○		
78	114032010	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
79	114032110	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・月2回以上・10人以上)		○	○	○		
80	114032210	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・月1回・1人)		○	○	○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

No	診療行為コード	コード区分番号	名称	DtoD	DtoDtoP	DtoNtoP	DtoP	他	備考
81	114032310	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・月1回・2人以上9人以下)		○	○	○		
82	114032410	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所(厚生労働大臣の定めるもの))(病床無・月1回・10人以上)		○	○	○		
83	114032510	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(別に定める状態・月2回以上・1人)		○	○	○		
84	114032610	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(別に定める状態・月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
85	114032710	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(別に定める状態・月2回以上・10人以上)		○	○	○		
86	114032810	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(月2回以上・1人)		○	○	○		
87	114032910	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
88	114033010	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(月2回以上・10人以上)		○	○	○		
89	114033110	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(月1回・1人)		○	○	○		
90	114033210	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(月1回・2人以上9人以下)		○	○	○		
91	114033310	C002	在宅時医学総合管理料(在宅療養支援診療所等(1に規定するものを除く))(月1回・10人以上)		○	○	○		
92	114033410	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(別に定める状態・月2回以上・1人)		○	○	○		
93	114033510	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(別に定める状態・月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
94	114033610	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(別に定める状態・月2回以上・10人以上)		○	○	○		
95	114033710	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(月2回以上・1人)		○	○	○		
96	114033810	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(月2回以上・2人以上9人以下)		○	○	○		
97	114033910	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(月2回以上・10人以上)		○	○	○		
98	114034010	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(月1回・1人)		○	○	○		
99	114034110	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(月1回・2人以上9人以下)		○	○	○		
100	114034210	C002	在宅時医学総合管理料(1及び2に掲げるもの以外の場合)(月1回・10人以上)		○	○	○		
101	114003010	C004	救急搬送診療料	○					
102	114004510	C005	在宅患者訪問看護・指導料(1日につき)(保健師、助産師又は看護師による場合)(週3日目まで)					○	
103	114011410	C005	在宅患者訪問点滴注射管理指導料(1週につき)					○	
104	114013670	C005	在宅患者緊急時等カンファレンス加算					○	
105	114014670	C005	同一建物居住者緊急時等カンファレンス加算					○	
106	114026810	C005	同一建物居住者訪問看護・指導料(1日につき)(保健師、助産師又は看護師)(1日2人)(週3日目まで)					○	
107	114006410	C006	在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料(同一建物居住者以外の場合)(1単位)					○	
108	114020910	C007	介護職員等喀痰吸引等指示料			○			
109	114007810	C008	在宅患者訪問薬剤管理指導料(同一建物居住者以外の場合)					○	
110	114015310	C010	在宅患者連携指導料	○				○	
111	114015410	C011	在宅患者緊急時等カンファレンス料	○				○	
112	114027610	C012	在宅患者共同診療料(往診の場合)		○				
113	114028010	C013	在宅患者訪問褥瘡管理指導料		○	○			
114	114007310	C100	退院前在宅療養指導管理料			○	○		
115	114021010	C101	在宅自己注射指導管理料(複雑な場合)			○	○		
116	114003510	C102	在宅自己腹膜灌流指導管理料			○	○		
117	114003610	C102	在宅自己連続携帯式腹膜灌流頻回指導管理			○	○		
118	114009310	C102	在宅血液透析指導管理料			○	○		
119	114003710	C103	在宅酸素療法指導管理料(その他の場合)			○	○	○	診療行為名フェースシート13
120	114004110	C103	在宅酸素療法指導管理料(チアノーゼ型先天性心疾患の場合)			○	○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

No	診療行為コード	コード区分番号	名称	DtoD	DtoDtoP	DtoNtoP	DtoP	他	備考
121	114004210	C104	在宅中心静脈栄養法指導管理料			○	○		
122	114004310	C105	在宅成分栄養経管栄養法指導管理料			○	○		
123	114021210	C105	在宅小児経管栄養法指導管理料			○	○		
124	114005410	C107	在宅人工呼吸指導管理料			○	○		
125	114040710	C107	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料1			○	○		
126	114005610	C108	在宅悪性腫瘍等患者指導管理料			○	○		
127	114021310	C108	在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料			○	○		
128	114005810	C109	在宅寝たきり患者処置指導管理料			○			
129	114007010	C110	在宅自己疼痛管理指導管理料			○	○		
130	114010410	C111	在宅肺高血圧症患者指導管理料			○	○		
131	114017210	C114	在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料			○	○		
132	114021910	C116	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料			○	○		
133	114005910	C150	血糖自己測定器加算(月20回以上測定する場合)(1型糖尿病の患者を除く)				○		
134	114005510	C164	人工呼吸器加算(陰圧式人工呼吸器)			○	○		
135	114006810	C164	人工呼吸器加算(陽圧式人工呼吸器)			○	○		
136	114009610	C164	人工呼吸器加算(人工呼吸器)			○	○		
137	114041210	C165	在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算(ASVを使用した場合)			○			診療行為名フェースシート14
138	114041310	C165	在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算(CPAPを使用した場合)			○	○		
139	160073510	D220	呼吸心拍監視(1時間以内又は1時間につき)			○	○		
140	160073750	D220	カルジオスコープ(ハートスコープ)(1時間以内又は1時間につき)	○					
141	160075310	D235	脳波検査(8誘導以上)	○					
142	160119410	D237	終夜睡眠ポリグラフ(携帯用装置を使用した場合)						
143	160207710	D238	脳波検査判断料1(遠隔脳波診断を行った場合)		○				診療行為名フェースシート15
144	160081010	D255	精密眼底検査(片側)	○	○				
145	160171110	D255	汎網膜硝子体検査(片側)	○	○				
146	160203710	D256	眼底カメラ撮影(アナログ撮影)	○	○				
147	160084510	D273	細隙顕微鏡検査(前眼部)	○	○				診療行為名フェースシート16
148	160179610	D282	ダーモスコピー	○	○				
149	160092050	D295	内視鏡写真診断(他医療機関撮影)	○					
150	160148670	D295	超音波内視鏡検査加算	○					
151	170024910	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算1	○					診療行為名フェースシート17
152	170025010	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算2	○					
153	170025810	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算1(写真診断)	○					
154	170025910	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算1(基本的エックス線診断)	○					
155	170026010	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算1(核医学診断)	○					
156	170026110	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算1(コンピューター断層診断)	○					
157	170026210	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算2(核医学診断)	○					
158	170026310	E000	遠隔画像診断による画像診断管理加算2(コンピューター断層診断)	○					
159	170019950	E203	他医療機関撮影のコンピューター断層診断	○					
160	120002710	F400	処方せん料(7種類以上の内服薬の投薬)(臨時投薬2週間以内を除く)(地域包括診療加算を除く)		○		○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

No	診療行為コード	コード区分番号	名称	DtoD	DtoDtoP	DtoNtoP	DtoP	他	備考
161	120002910	F400	処方せん料(その他)		○		○		
162	120003710	F400	処方せん料(3種類以上の抗不安薬・3種類以上の睡眠薬・3種類以上の抗うつ薬又は3種類以上の抗精神病薬の投薬)(臨時投薬を除く)		○		○		
163	180012210	I002	通院精神療法(1回につき)(30分以上)		○		○		
164	180020570	I002	通院・在宅精神療法(20歳未満)加算		○		○		
165	180031410	I002	精神科継続外来支援・指導料(1日につき)		○		○		
166	180035870	I002	特定薬剤副作用評価加算(精神科継続外来支援・指導料)		○		○		
167	180039710	I002	在宅精神療法(初診時精神科救急体制の精神保健指定医等による場合)(1回)		○		○		
168	180039810	I002	在宅精神療法(1回につき)(30分以上)		○		○		
169	180047270	I002	児童思春期精神科専門管理加算(16歳未満の患者に通院・在宅精神療法を行った場合)		○		○		
170	180050230	I002	精神科継続外来支援・指導料(3種類以上の抗うつ薬等を投与し厚生労働大臣の要件を満たさない場合)(注2の規定を除く)(1日につき)		○		○		
171	180033210	I003	認知療法・認知行動療法(1以外の医師による場合)(1日につき)		○		○		
172	180035910	I003	認知療法・認知行動療法(精神科救急体制の精神保健指定医)(1日につき)		○		○		
173	180047810	I003	認知療法・認知行動療法(精神科救急体制を確保するために協力等を行っている精神保健指定医と看護師が共同で行う場合)(1日につき)		○	○	○		診療行為名フェースシート18
174	180008110	I012	精神科訪問看護・指導料(1)(保健師、看護師、作業療法士又は精神保健福祉士による場合・週5日目で30分以上の場合)		○		○		
175	140036710	J038	人工腎臓(慢性維持透析を行った場合)(4時間未満)(1日につき)	○	○				
176	140055970	J038	下肢末梢動脈疾患指導管理加算		○		○		診療行為名フェースシート19
177	113001110	M000	放射線治療管理料(分布図の作成1回につき)(1門照射を行った場合)	○					
178	160171470	N003	術中迅速病理組織標本作製(テレパソロジー)	○					診療行為名フェースシート20
179	160185110	N003	術中迅速細胞診(テレパソロジー)	○					
180	160190270	N006	病理診断管理加算1(組織診断を行った場合)	○					
181	160190370	N006	病理診断管理加算1(細胞診断を行った場合)	○					

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表2 診療行為名フェースシート見本

診療行為名フェースシート		No.
項目	内容	
診療行為名		
記号 (診療行為項目名)		
内容 (点数も記載)		
施設基準等		
類似診療行為		
注記		

区分	内容	形態						
		遠隔からの 指導(蓄積 通信)	遠隔からの 指導(カン ファレンス)	遠隔からの 医師の指導 と診察	遠隔から看 護師の指導 と診察	遠隔からの 診察	遠隔モニタ リング(通院 間隔伸張)	他
遠隔診療 実施例								
研究例								

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 電話等再診

診療行為名フェースシート		No.1
項目	内容	
診療行為名	電話等再診料	
記号 (診療行為項目名)	A001 電話等再診料	
内容 (点数も記載)	電話テレビ画像等を通じた再診 72点	
施設基準等	一般病床200床以上の病院を除く	
類似診療行為	同日電話等再診72点 電話等再診(複再)36点 電話等再診(再妥減)53点 同日電話等再診53点 電話等再診(複再)(再妥減)26点	
注記	遠隔類型: DtoDtoP DtoNtoP DtoP	

区分	内容	形態						
		遠隔からの 指導(蓄積 通信)	遠隔からの 指導(カン ファレンス)	遠隔からの 医師の指導 と診察	遠隔から看 護師の指導 と診察	遠隔からの 診察	遠隔モニタ リング(通院 間隔伸張)	他
遠隔診療 実施例	多くの施設で実施されてい るオンライン診療			○		○		
研究例	厚生労働行政推進調査事業 (遠隔診療の有効性・安全 性の定量的評価に関する 研究、H27-医療-指定- 017、研究代表者 酒巻哲 夫)			○	○	○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 2 超急性期脳卒中加算

診療行為名フェースシート		No.2
項目	内容	
診療行為名	超急性期脳卒中加算	
記号 (診療行為項目名)	A205-2 超急性期脳卒中加算	
内容 (点数も記載)	発症後4.5時間以内に組織プラスミノーゲン活性化因子を投与 入院初日に算定 1200点	
施設基準等	救急医療機関である等	
類似診療行為	乳幼児加算400点 妊産婦緊急搬送入院加算7000点 小児加算200点	
注記	遠隔類型: DtoDtoP	

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	山口大学医学部附属病院～山口県内一次救急施設、徳島大学医学部附属病院～徳島県立海部病院など(診療報酬請求の可否は不明)			○				
研究例	米国、ドイツなどで研究事例多数			○				

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 3 特定集中治療管理料 1

診療行為名フェースシート		No.3
項目	内容	
診療行為名	特定集中治療室管理料1	
記号 (診療行為項目名)	A301 特定集中治療室管理料1	
内容 (点数も記載)	1日につき算定 7日以内の期間13650点 8日以上14日以内の期間12126点	
施設基準等	必要医師数看護師数の基準 看護必要度の基準を満たす患者8割など	
類似診療行為	特定集中治療室管理料2・3・4(7日以内・8日から14日)	
注記	遠隔類型: DtoD DtoDtoP DtoNtoP	

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	米国等に実施例多数		○	○	○			
研究例	横浜市立大学、昭和大学等(日本集中治療医学会遠隔集中治療委員会発足)、医政局医事課と情報交換あり		○	○				

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 4 特定薬剤治療管理料

診療行為名フェースシート	
	No.4
項目	内容
診療行為名	特定薬剤治療管理料
記号 (診療行為項目名)	B001 特定薬剤治療管理料
内容 (点数も記載)	対象の薬剤を投与している対象の患者等に対して、薬物血中濃度を測定して計画的な治療管理を行った場合 470点
施設基準等	特定薬剤治療管理料は、特定の条件ものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき投与薬剤の投与量を綿密に管理した場合、月1回に限り算定する。
類似診療行為	特定薬剤治療管理料：第4月目以降235点 ジギタリス製剤の急性飽和740点 抗てんかん剤注射精密管理740点 加算：臓器移植月を含め3月限り2740点、臓器移植後の患者以外第1回目280点
注記	遠隔類型：DtoD DtoDtoP DtoNtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例								
研究例	実施例の有無、不明 在宅ではなく、DtoD、他院の指導管理となる。	○		○	○			

表 3 - 5 小児科療養指導管理料

診療行為名フェースシート	
	No.5
項目	内容
診療行為名	小児科療養指導料
記号 (診療行為項目名)	B001 小児科療養指導料
内容 (点数も記載)	小児科を担当とする医師が、慢性疾患であった指導の必要のある15歳未満の患者であって入院中以外の患者に必要な指導を行った場合に月1回に限り算定。270点
施設基準等	当該保険医療機関の屋内において喫煙が禁止されていることなど
類似診療行為	てんかん指導料250点 難病外来指導管理料270点 皮膚科特定疾患指導管理料250点
注記	遠隔類型: DtoDtoP DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例								
研究例	信州大学等				○	○	○	

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 6 てんかん指導料

診療行為名フェースシート	
	No.6
項目	内容
診療行為名	てんかん指導料
記号 (診療行為項目名)	B001 てんかん指導料
内容 (点数も記載)	該当科を標榜する診療科を担当する医師が、てんかんの患者であって入院中以外のものに対して、治療計画に基づき療養上必要な指導を行った場合に、月1回に限り算定する。250点
施設基準等	第1回目のてんかん指導料は、初診の日又は退院した日から1か月を経過した日以降に算定できる。 電話等によって指導が行われた場合は、てんかん指導料は算定できない。
類似診療行為	小児科療養指導料270点 難病外来指導管理料270点 皮膚科特定疾患指導管理料250点
注記	遠隔類型 : DtoD DtoDtoP DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例								
研究例	東北大学、気仙沼市民病院等		○	○	○	○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 7 難病外来指導管理料

診療行為名フェースシート	
No.7	
項目	内容
診療行為名	難病外来指導管理料
記号 (診療行為項目名)	B001 難病外来指導管理料
内容 (点数も記載)	指定の疾患を主病とするものに対して、計画的な医学管理を継続して行い、かつ、治療計画に基づき療養上必要な指導を行った場合に、月1回に限り算定する。270点
施設基準等	対象疾患:難病の患者に対する医療等に関する法律第5条に規定する指定難病
類似診療行為	小児科療養指導料270点 てんかん指導料270点 皮膚科特定疾患指導管理料250点
注記	遠隔類型: DtoD DtoDtoP DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例								
研究例	信州大学(神経難病)			○	○	○	○	

表 3 - 8 高度難聴指導管理料

診療行為名フェースシート	
	No.8
項目	内容
診療行為名	高度難聴指導管理料(術後3月以内)
記号 (診療行為項目名)	B001 高度難聴指導管理料(術後3月以内)
内容 (点数も記載)	高度難聴の患者に対して必要な療養上の指導を行った場合に算定する。区分番号K328に掲げる人工内耳植込術を行った患者については月1回に限り、その他の患者については1回に限り算定する。500点
施設基準等	人工内耳埋込術の施設基準を満たしていること。5年以上の耳鼻咽喉科の診療経験を有する常勤の医師が耳鼻咽喉科に配置されていること。
類似診療行為	高度難聴指導管理料(術後3月以内以外の場合)
注記	遠隔類型: DtoD DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	オーストラリア(コクレア社など)						○	
研究例	札幌医科大学、氷見徹夫						○	

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 9 生活習慣管理料

診療行為名フェースシート	
	No.9
項目	内容
診療行為名	生活習慣病管理料(処方せんを交付しない)(糖尿病を主病とする場合)
記号 (診療行為項目名)	B001-3 生活習慣病管理料(処方せんを交付しない)(糖尿病を主病とする場合)
内容 (点数も記載)	該当の疾患を主病とする患者に対して、患者の同意を得て治療計画を作成し、該当治療計画に基づき、生活習慣に関する総合的な治療管理を行った場合に月1回に限り算定する。1280点
施設基準等	当該保険医療機関の屋内において喫煙が禁止されていること 許可病床200床未満の病院又は診療所に限る。
類似診療行為	生活習慣病管理料(処方せんを交付):脂質異常1175点、高血圧症1035点 生活習慣病管理料(処方せんを交付):脂質異常650点、高血圧症700点、糖尿病800点
注記	遠隔類型: DtoDtoP DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	オンライン医学管理料の実績待ち							
研究例	埼玉医大(中元秀友)、自治医大(苅尾七臣)			○			○	

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 0 遠隔医療モニタリング加算

診療行為名フェースシート	
	No.10
項目	内容
診療行為名	遠隔モニタリング加算
記号 (診療行為項目名)	B001 遠隔モニタリング加算
内容 (点数も記載)	心臓ペースメーカー管理料を算定する患者について、前回受診から翌月から今回受診月までの期間、遠隔モニタリングを用いて療養上の必要な指導を行った場合。60点
施設基準等	遠隔モニタリングに対応した体内植込式ペースメーカー等を使用している患者、入院中以外のもの、状況等において来院等を促す体制が整っている場合に算定できる。11か月を限度。
類似診療行為	
注記	遠隔類型： DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	南口 仁(大阪大学)他多数						○	
研究例	不整脈学会等で多数							

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 1 認知症地域包括診療料

診療行為名フェースシート	
	No.11
項目	内容
診療行為名	認知症地域包括診療料
記号 (診療行為項目名)	B001-2-10 認知症地域包括診療料
内容 (点数も記載)	1 処方につき5種類を超える内服薬の投薬を行った場合及び1処方につき抗うつ薬、抗精神病薬、抗不安薬又は睡眠薬を合わせて3種類を超えて投薬を行った場合のいずれにも該当しないものに限る。)に対して、患者又はその家族等の同意を得て、療養上必要な指導及び診療を行った場合(初診の日を除く。)に、患者1人につき月1回に限り算定する。1515点
施設基準等	許可病床数が200床未満の病院又は診療所に限る。
類似診療行為	地域包括診療料 小児かかりつけ診療料
注記	遠隔類型: DtoDtoP DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	いのうえ内科クリニック(東京都町田市)			○	○	○		
研究例								

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 2 在宅時医学総合管理料

診療行為名フェースシート	
	No.12
項目	内容
診療行為名	在宅時医学総合管理料
記号 (診療行為項目名)	C002 在宅時医学総合管理料
内容 (点数も記載)	月1回算定 点数:510点~5400点(条件によって36通りの組み合わせ)
施設基準等	在宅療養支援診療所又在宅療養支援病院+別の告示条件を満たす施設 診療点数早見表(2017年4月現在) P281、282、276、286 診療報酬はやわかりマニュアル 2016年4月改定版 P15~20
類似診療行為	C002-2 施設入居時医学総合管理料
注記	遠隔類型: DtoDtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの 指導(蓄積 通信)	遠隔からの 指導(カン ファレンス)	遠隔からの 医師の指導 と診察	遠隔から看 護師の指導 と診察	遠隔からの 診察	遠隔モニタ リング(通院 間隔伸張)	他
遠隔診療 実施例	オンライン在宅医学管理 料					○		
研究例	岡山県新見市(太田病院 他)、岐阜県岐阜市(小笠 原内科)他				○			

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 3 在宅酸素療法指導管理料

診療行為名フェースシート	
	No.13
項目	内容
診療行為名	在宅酸素療法指導管理料
記号 (診療行為項目名)	C103 在宅酸素療法指導管理料
内容 (点数も記載)	在宅酸素療法を行っている入院中の患者以外の患者に対して、在宅酸素療法に関する指導管理を行った場合に算定する。2400点
施設基準等	在宅酸素療法を実施する保険医療機関又は緊急時に入院するための施設は、次の機械及び器具を備えなければならない。酸素吸入設備、気管内挿管又は気管切開の器具、レスピレーター、気道内分泌物吸引装置、動脈血ガス分析装置、スパイロメトリー用装置、胸部エックス線撮影装置
類似診療行為	C100～C116までの在宅療養指導管理料
注記	遠隔類型： DtoNtoP DtoP NtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例							○	
研究例	鳥取大学 鱒岡教授、聖路加国際大学 亀井教授						○	○ (NtoP)

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表3-14 在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算

診療行為名フェースシート	
	No.14
項目	内容
診療行為名	在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算(ASVを使用した場合)
記号 (診療行為項目名)	C165 在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算(ASVを使用した場合)
内容 (点数も記載)	要件に該当する患者に対して保険医療機関が患者に貸与する持続陽圧呼吸療法装置のうち、ASVを使用して治療を行った場合に、3月に3回に限り算定できる。3750点
施設基準等	診療報酬明細書の摘要欄に、算定の根拠となった要件(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2のア又はイ)を記載する。なお、イの要件を根拠に算定をする場合は、当該患者に対するASV療法の実施開始日も併せて記載すること。
類似診療行為	在宅持続陽圧呼吸療法用治療器加算(CPAPを使用した場合) 1100点
注記	遠隔類型: DtoNtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	電話等再診との組み合わせ事例あり					○	○	
研究例	京都大学 陳和夫研究班(長崎市井上病院、川崎市太田睡眠医療センターなど)						○	

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 5 脳波検査判断料

診療行為名フェースシート	
	No.15
項目	内容
診療行為名	脳波検査判断料1（遠隔脳波診断を行った場合）
記号 （診療行為項目名）	D238 脳波検査判断料1（遠隔脳波診断を行った場合）
内容 （点数も記載）	脳波検査等の種類又は回数にかかわらず月1回に限り算定するものとする。350点 遠隔脳波診断を行った場合は、送信側の保険医療機関において区分番号「D235」脳 波検査及び本区分の脳波検査判断料1を算定できる。
施設基準等	小児科、神経内科、脳神経外科、精神科、神経科又は心療内科の標榜指定、MRI装置、 医師及び臨床検査技師の経験人数、地域連携診療計画書に登録、研修、連携の拠点、 関係学会の認定、他の施設に脳波診断の委託をしていない、データの送受信時のガイド ラインの遵守など
類似診療行為	脳波検査判断料2 180点
注記	遠隔類型： DtoDtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの 指導（蓄積 通信）	遠隔からの 指導（カン ファレンス）	遠隔からの 医師の指導 と診察	遠隔から看 護師の指導 と診察	遠隔からの 診察	遠隔モニタ リング（通院 間隔伸張）	他
遠隔診療 実施例								
研究例	太田睡眠医療センター（千 葉伸太郎）			○				

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 6 細隙燈顕微鏡検査

診療行為名フェースシート	
	No.16
項目	内容
診療行為名	細隙燈顕微鏡検査(前眼部)
記号 (診療行為項目名)	D273 細隙燈顕微鏡検査(前眼部)
内容 (点数も記載)	細隙燈顕微鏡検査(前眼部)とは、細隙燈顕微鏡を用いて行う前眼部及び透光体の検査。48点
施設基準等	
類似診療行為	D257 細隙燈顕微鏡検査(前眼部及び後眼部) 112点
注記	遠隔類型: DtoD DtoDtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	旭川医科大学(医工連携総研講座)～道北部の各病院		○	○				
研究例								

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表3-17 遠隔画像診断による画像診断管理加算

診療行為名フェースシート	
	No.17
項目	内容
診療行為名	遠隔画像診断による画像診断管理加算1
記号 (診療行為項目名)	E000 遠隔画像診断による画像診断管理加算1
内容 (点数も記載)	画像診断の専門医の配置等による充実した読影・診断体制を評価。当該医師が画像診断の結果を文書により報告した場合に、写真診断、基本的エックス線診断料、核医学診断、コンピューター断層診断に加算。70点
施設基準等	放射線科を標榜している保険医療機関であること。当該保険医療機関内に画像診断を専ら担当する常勤の医師が配置されていること。他の施設に委託をしていない、データの送受信時のガイドラインの遵守など
類似診療行為	遠隔画像診断による画像診断管理加算1: (写真診断・基本的エックス線診断・核医学診断・コンピューター断層診断)70点 遠隔画像診断による画像診断管理加算2: (写真診断・基本的エックス線診断・核医学診断・コンピューター断層診断)180点
注記	遠隔類型: DtoD

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	画像診断管理加算の算定施設(放射線科が主だが、救急での利用もあり(救急では主として外科医が読影するが請求不可?))	○						
研究例								

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表3-18 認知療法・認知行動療法

診療行為名フェースシート	
	No.18
項目	内容
診療行為名	認知療法・認知行動療法（精神科救急体制を確保するために協力等を行っている精神保健指定医と看護師が共同して行う場合）（1日につき）
記号 （診療行為項目名）	I003 認知療法・認知行動療法（精神科救急体制を確保するために協力等を行っている精神保健指定医と看護師が共同して行う場合）（1日につき）
内容 （点数も記載）	認知療法・認知行動療法は、一連の治療計画を策定し、患者に対して詳細な説明を行った上で、当該療法に関する研修を受講するなど当該療法に習熟した医師によって30分を超えて治療が行われた場合において、看護師により30分を超える面接が行われ、その後当該療法に習熟した医師により5分以上の面接が行われた場合を含む場合に算定する。
施設基準等	入院中の患者以外のうつ病等の気分障害の患者に対して、地域の精神科救急医療体制の確保に協力等を行っている精神保健指定医の要件を満たした上で治療を行うに当たり、治療に係る面接の一部を専任の看護師が実施した場合など
類似診療行為	認知療法・認知行動療法（精神科救急体制の精神保健指定医）（1日につき） 500点
注記	遠隔類型： DtoDtoP DtoNtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導（蓄積通信）	遠隔からの指導（カンファレンス）	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング（通院間隔伸張）	他
遠隔診療実施例								
研究例	慶應義塾大学精神科 岸本講師（AMED研究）			○	○	○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表 3 - 1 9 下肢末梢動脈疾患指導管理加算

診療行為名フェースシート	
No.19	
項目	内容
診療行為名	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
記号 (診療行為項目名)	J038 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
内容 (点数も記載)	人工腎臓を実施している患者に係る下肢末梢動脈疾患の重症度等を評価し、療養上必要な指導管理を行っている場合算定。月1回100点
施設基準等	ABI検査0.7以下又はSPP検査40mmHg以下の患者については、患者や家族に説明を行い、同意を得た上で、専門的な治療体制を有している医療機関へ紹介を行っていること。連携を行う専門的な治療体制を有している医療機関を定め、地方厚生局に届け出ていること
類似診療行為	
注記	遠隔類型: DtoDtoP DtoP

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例								
研究例	事例無し			○		○		

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表3-20 術中迅速病理組織標本作製

診療行為名フェースシート	
No.20	
項目	内容
診療行為名	術中迅速病理組織標本作製(テレパソロジー)
記号 (診療行為項目名)	N003 術中迅速病理組織標本作製(テレパソロジー)
内容 (点数も記載)	術中迅速病理組織標本作製 術中迅速病理組織標本作製は、手術の途中において迅速凍結切片等による標本作製及び鏡検を完了した場合において、1手術につき1回算定する。1990点 なお、摘出した臓器について、術後に再確認のため精密な病理組織標本作製を行った場合は、区分番号「N000」病理組織標本作製の所定点数を別に算定する。1臓器につき860点
施設基準等	テレパソロジーによる算定を行った場合は、送信側の保険医療機関において算定する。病理診断管理加算については、受診側の保健医療機関が、当該加算の施設基準に適合しているものとするなど。
類似診療行為	病理組織標本作製(1臓器につき)860点 術中迅速細胞診(1手術につき)450点
注記	遠隔類型: DtoD

区分	内容	形態						
		遠隔からの指導(蓄積通信)	遠隔からの指導(カンファレンス)	遠隔からの医師の指導と診察	遠隔から看護師の指導と診察	遠隔からの診察	遠隔モニタリング(通院間隔伸張)	他
遠隔診療実施例	実施施設多数(東北大学病院、岩手県立中央病院他)	○						
研究例								

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

表4 診療行為フェースシート参考文献

参照番号	発行年	題目	著者	掲載誌	医学中央雑誌の投稿分類	
1	2014	徳島県立海部病院の徳島大学病院による遠隔診断支援システムについて	田畑 良(徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部総合診療医学分野), 中西 嘉憲, 河南 真吾, 湯浅 志乃, 清水 伸彦, 山口 治隆, 河野 光宏, 谷 憲治, 山田 博胤, 西尾 進, 井口 明子, 小幡 史明, 坂東 弘康, 佐田 政隆	四国医学雑誌(0037-3699)69巻5-6 Page298(2013.12)	会議録	
2	2014	地域中核病院でのスマートデバイスを用いた救急遠隔医療システム(K-support)の実践	小幡 史明(徳島県立海部病院), 浦岡 秀行, 三橋 乃梨子, 田畑 良, 濱口 隼人, 森 敬子, 坂東 弘康, 岡 博文, 影治 照輝	日本臨床救急医学会雑誌(1345-0581)17巻2号 Page254(2014.04)	会議録	
3	2014	スマートデバイスを用いた遠隔画像診断システム(k-support)の有用性の検討	小幡 史明(徳島県立海部病院 総合診療科), 田畑 良, 森 敬子, 影治 照喜, 岡 博文, 坂東 弘康	日本内科学会雑誌(0021-5384)103巻Suppl. Page175(2014.02)	会議録	
4	2014	当院における救急遠隔診療支援システム(k-support)30例の解析	小幡 史明(徳島県立海部病院 総合診療科), 田畑 良, 影治 照喜	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)9巻2号 Page214-217(2013.10)	原著論文	
5	2015	医療過疎地域における循環器領域での遠隔診療支援システムの有用性	小幡 史明(徳島県立海部病院 総合診療科), 田畑 良, 影治 照喜	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)10巻2号 Page169-172(2014.09)	解説	
6	2014	救急隊への海部病院遠隔診療支援システム(k-support)の導入救命率向上を目指して	小幡 史明(徳島県立海部病院 総合診療科), 森 敬子, 坂東 弘康, 坂本 菜穂子, 原田 賢一, 森 雄一, 長谷 行恭, 田畑 良, 谷 憲治, 岡 博文, 影治 照喜	四国医学雑誌(0037-3699)70巻1-2 Page37-38(2014.04)	会議録	
7	2015	遠隔画像診断治療補助システム(k-support)を用いてrt-PAを投与した急性期脳梗塞の1例 ドクターヘリ搬送によるdrip and ship法の試み	小幡 史明(徳島県立海部病院 総合診療科), 影治 照喜, 湯浅 志乃, 田畑 良, 森 敬子, 谷 憲治, 坂東 弘康	救急医学(0385-8162)38巻9号 Page1111-1114(2014.09)	原著論文/症例報告	
8	2015	医療過疎地域における急性期脳梗塞患者に対するrt-PA静注療法	小幡 史明(徳島県立海部病院 総合診療科), 影治 照喜, 田畑 良, 長瀬 紗季, 生田 奈央, 森 敬子, 谷 憲治, 坂東 弘康	日本プライマリ・ケア連合学会誌(2185-2928)38巻1号 Page18-22(2015.03)	原著論文	
9	2014	スマートフォンとインターネットを用いた徳島県立海部病院遠隔診療支援システム(k-support)急性期脳卒中に対する早期診断・治療への貢献	影治 照喜(徳島大学病院 地域脳神経外科診療部), 小幡 史明, 田畑 良	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)9巻2号 Page218-221(2013.10)	原著論文	
10	2015	スマートデバイスとインターネットを用いた医療過疎地域での脳卒中支援システムの導入	影治 照喜(徳島大学病院 地域脳神経外科診療部), 岡 博文, 永廣 信治, 里見 淳一郎, 溝渕 佳史, 谷 憲治, 坂東 弘康, 小幡 史明, 三橋 乃梨子	脳卒中(0912-0726)37巻2号 Page89-95(2015.03)	原著論文	
11	2014	スマートフォンとインターネットを用いた徳島県立海部病院遠隔診療支援システム(k-support)の導入	影治 照喜(徳島大学病院 地域脳神経外科診療部), 岡 博文, 永廣 信治, 里見 淳一郎, 溝渕 佳史, 谷 憲治, 河野 光宏, 湯浅 志乃, 田畑 良, 坂東 弘康, 森 敬子, 小幡 史明, 三橋 乃梨子, 浦岡 秀行, 濱口 隼人	四国医学雑誌(0037-3699)69巻5-6 Page243-250(2013.12)	原著論文	
12	2014	スマートフォンとインターネットを用いた海部病院遠隔医療支援システム(k-support)の導入	影治 照喜(徳島大学病院 地域脳神経外科診療部), 岡 博文, 永廣 信治, 里見 淳一郎, 溝渕 佳史, 谷	四国医学雑誌(0037-3699)69巻5-6 Page297-298(2013.12)	会議録	

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

			憲治, 河野 光宏, 湯浅 志乃, 田畑 良, 坂東 弘康, 高橋 幸志, 森敬子, 小幡 史明, 三橋 乃梨子, 浦岡 秀行, 濱口 隼人			
13	201 4	在宅難病患者家族への総合在宅遠隔医療システムの開発	滝沢 正臣(信州大学医学部附属病院), 中村 昭則, 武井 洋一, 大原 慎司	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)9巻2号 Page74-78(2013.10)	原著論文	
14	201 4	神経難病患者におけるモバイル端末を用いた在宅チームケアシステムの有用性	日根野 晃代(信州大学 医学部脳神経内科リウマチ・膠原病内科), 中村 昭則, 宮崎 大吾, 滝沢 正臣	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)9巻2号 Page145-147(2013.10)	原著論文	
15	201 4	【神経難病とリハビリテーション】 神経難病に対する診断, 治療, および在宅療養支援	中村 昭則(信州大学医学部附属病院 難病診療センター), 吉田 邦広	総合リハビリテーション(0386-9822)42巻6号 Page497-505(2014.06)	解説/特集	
16	201 2	退院患者の遠隔フォローアップシステムの研究	亀山 大希(旭川医科大学 眼科学教室), 守屋 潔, 三上 大季, 石子 智士, 木ノ内 玲子, 花田 一臣, 吉田 晃敏	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)7巻2号 Page191-194(2011.10)	原著論文	
17	201 2	眼疾患における遠隔医療システムの有用性	山口 亨(旭川医科大学), 守屋 潔, 石子 智士, 木ノ内 玲子, 花田 一臣, 吉田 晃敏	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)7巻2号 Page216-218(2011.10)	原著論文	
18	201 4	遠隔医療システムを活用した眼科術後管理の有用性	山口 亨(旭川医科大学 眼科学講座), 石子 智士, 木ノ内 玲子, 花田 一臣, 守屋 潔, 吉田 晃敏	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)9巻1号 Page33-38(2013.05)	原著論文	
19	201 4	遠隔医療支援システムを活用した眼科遠隔医療の運用実績	花田 一臣(旭川医科大学 医工連携総研講座), 石子 智士, 守屋 潔, 木ノ内 玲子, 三上 大季, 山口 亨, 吉田 晃敏	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)9巻2号 Page125-128(2013.10)	原著論文	
54	201 4	【遠隔医療を推進する旭川医科大学の取り組み】 遠隔相談システムを活用した医療支援	花田 一臣(旭川医科大学 医工連携総研講座), 石子 智士, 守屋 潔, 木ノ内 玲子, 林 弘樹, 三上 大季, 山口 亨, 吉田 晃敏	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)10巻1号 Page8-11(2014.05)	解説/特集	
20	201 4	【遠隔医療を推進する旭川医科大学の取り組み】 術後退院患者の遠隔フォローアップシステム	山口 亨(旭川医科大学 眼科学講座), 石子 智士, 木ノ内 玲子, 花田 一臣, 守屋 潔, 林 弘樹, 三上 大季, 吉田 晃敏	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)10巻1号 Page12-15(2014.05)	解説/特集	
21	201 5	旭川医科大学が行う眼疾患に対する緊急遠隔医療支援	花田 一臣(旭川医科大学 医工連携総研講座), 石子 智士, 守屋 潔, 木ノ内 玲子, 三上 大季, 山口 亨, 吉田 晃敏	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)10巻2号 Page145-148(2014.09)	原著論文	
22	201 3	テレビ会議システムを用いた遠隔てんかん専門外来の試み(第一報)	神 一敬(東北大学 大学院てんかん学分野), 成田 徳雄, 板橋 尚, 加藤 量広, 岩崎 真樹, 中里 信和	てんかん研究(0912-0890)30巻2号 Page408(2012.09)	会議録/症例報告	
23	201 3	テレビ会議システムで東日本大震災の被災地を結んだ遠隔てんかん外来	中里 信和(東北大学 大学院てんかん学分野), 神 一敬, 成田 徳雄	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)8巻2号 Page137-138(2012.09)	原著論文	
24	201 4	テレビ会議システムによる遠隔てんかん外来	成澤 あゆみ(気仙沼市立病院 脳神経外科), 成田 徳雄, 富永 悌二, 岩崎 真樹, 神 一敬, 中里 信和	脳神経外科ジャーナル(0917-950X)23巻2号 Page136-141(2014.02)	原著論文	
25	201 3	テレビ会議システムを用いた遠隔てんかん専門外来の試み(第一報)	神 一敬(東北大学 大学院てんかん学分野), 成田 徳雄, 板橋 尚, 加藤 量広, 岩崎 真樹, 中里 信和	てんかん研究(0912-0890)30巻2号 Page408(2012.09)	会議録/症例報告	
26	201 3	テレビ会議システムで東日本大震災の被災地を結んだ遠隔てんかん外来	中里 信和(東北大学 大学院てんかん学分野), 神 一敬, 成田 徳雄	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)8巻2号 Page137-138(2012.09)	原著論文	

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

27	201 4	テレビ会議システムによる遠隔てんかん外来	成澤 あゆみ(気仙沼市立病院 脳神経外科), 成田 徳雄, 富永 梯二, 岩崎 真樹, 神 一敬, 中里 信和	脳神経外科ジャーナル(0917-950X)23巻2号 Page136-141(2014.02)	原著論文	
28	201 2	COPD HOT患者の在宅モニタリングに基づくテレナーシングの急性増悪とQOL改善効果 ランダム化比較試験	亀井 智子(聖路加看護大学), 山本由子, 中山 優季, 蝶名林 直彦, 西村 直樹, 辻 洋介	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌(1881-7319)21巻Suppl. Page224s(2011.10)	会議録	
29	201 5	COPD在宅酸素療法患者を対象としたテレナーシングとガイドライン開発	亀井 智子(聖路加看護大学), 山本由子, 中山 優季, 蝶名林 直彦	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌(1881-7319)24巻3号 Page362(2014.12)	会議録	
30	201 4	COPD HOT患者のためのテレナーシング実践ガイドラインの開発	亀井 智子(聖路加看護大学), 山本由子, 中山 優季	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌(1881-7319)23巻Suppl. Page130s(2013.09)	会議録	
40	201 1	慢性閉塞性肺疾患(COPD)で在宅酸素療法(HOT)を受ける患者に対するテレナーシング実践の費用対効果の検討	亀井 智子(聖路加看護大学), 山本由子, 梶井 文子, 中山 優季, 亀井 延明, 辻 洋介, 穴田 幸雄, 相羽 大輔, 昼間 国夫	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)6巻2号 Page133-135(2010.09)	原著論文/ランダム化比較試験	比較研究
41	201 2	COPD IV期の在宅酸素療法患者を対象としたテレナーシング実践トリガーポイントによる在宅モニタリングデータの検討	亀井 智子(聖路加看護大学), 山本由子, 梶井 文子, 中山 優季, 亀井 延明, 穴田 幸雄, 辻 洋介, 相羽 大輔	日本遠隔医療学会雑誌(1880-800X)7巻2号 Page179-182(2011.10)	原著論文/比較研究	比較研究
42	201 1	COPD在宅酸素療法実施者への在宅モニタリングに基づくテレナーシング実践の急性増悪および再入院予防効果 ランダム化比較試験による看護技術評価	亀井 智子(聖路加看護大学), 山本由子, 梶井 文子, 中山 優季, 亀井 延明	日本看護科学会誌(0287-5330)31巻2号 Page24-33(2011.06)	原著論文/ランダム化比較試験	比較研究
43	201 3	ICTを活用した地域連携 在宅慢性呼吸不全患者のためのテレナーシングの実践的導入とガイドライン作成	亀井 智子(聖路加看護大学)	日本医療マネジメント学会雑誌(1881-2503)14巻Suppl. Page158(2013.06)	会議録	
44	201 3	老年学における新たな展開 注目される最近の動き 高齢者看護の新たな展開 高齢在宅療養者へのテレナーシングの活用と効果	亀井 智子(聖路加看護大学)	日本老年医学会雑誌(0300-9173)50巻Suppl. Page5(2013.05)	会議録	
45	201 5	慢性閉塞性肺疾患患者のテレホーム・モニタリングによるテレナーシングに関する研究のシステマティック・レビューとメタ分析(Systematic review and meta-analysis of studies involving telehome monitoring-based telenuersing for patients with chronic obstructive pulmonary disease)(英語)	Kamei Tomoko(St Luke's College of Nursing, Gerontological Nursing), Yamamoto Yuko, Kajii Fumiko, Nakayama Yuki, Kawakami Chiharu	Japan Journal of Nursing Science(1742-7932)10巻2号 Page180-192(2013.12)	原著論文/メタアナリシス	
46	201 5	将来の在宅ケアのための情報・通信技術(Information and communication technology for home care in the future)(英語)	Kamei Tomoko(St Luke's College of Nursing, Gerontological Nursing)	Japan Journal of Nursing Science(1742-7932)10巻2号 Page154-161(2013.12)	総説	

厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究事業）
平成30年度総合研究報告書

図1 A001 再診料

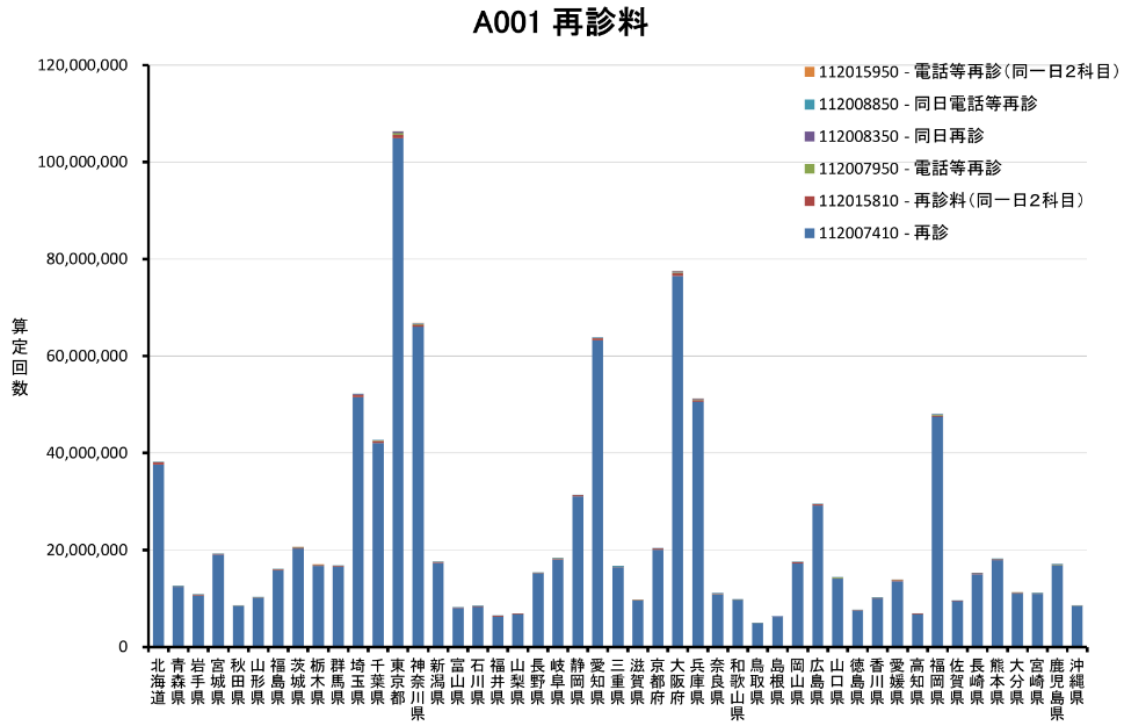


図2 B001-3 生活習慣病管理料

